

セット内容

組立前にセット内容をご確認ください。Nutube 6P1 は別売です。

1. クッション 1~3 (CUSHION1~3)

2. Nutube 変換基板 (PCB)

スペースを有効に使うために Nutube に合わせた最小のサイズの変換基板

3. ハーネス + コネクター (HARNESS+CONNECTOR)

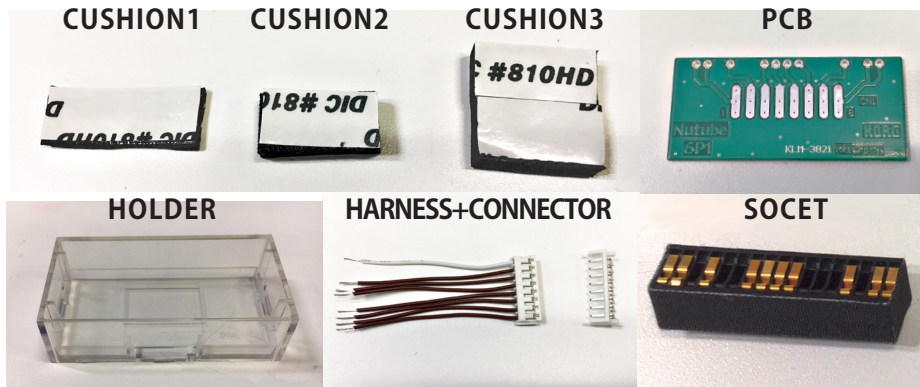
振動対策のため細い線材を使ったハーネスおよび 2.5mmピッチ・コネクター

4. 振動対策ケース (HOLDER)

Nutube のマイクロフォニックノイズを抑えるための専用ケース

5. Nutube ソケット (SOCET)

Nutube 専用ソケット

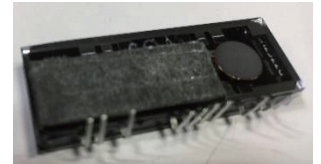


* HOLDER は左右の爪の部分を開くと簡単に開きます。

Nutube 変換基板の組み立て方

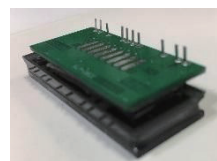
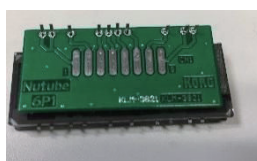
1. Nutube 裏側に CUSHION1 を貼り付けます。

CUSHION1 は Nutube 裏側の丸い部分にかぶらないようにします。



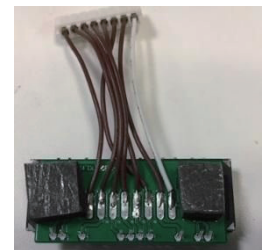
2. Nutube を基板の穴に差し込みクッションで基板と Nutube を固定します。

基板は表裏があるのでご注意ください。基板の中央にはんだ付け部分があるほうが裏側になります。



3. ハーネスを基板にはんだ付けします。ハーネスが隣同士接触しないよう確認ください。

Nutube の PIN が長い場合は PIN をカットしてください。

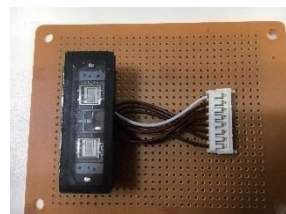


4. 変換基板の裏側に CUSHION2 を半分にカットして貼り付けます。

注意！ はんだ部分に CUSHION2 がかぶらないようにします。

5. 変換基板を取り付けたい基板に貼り付け、

コネクタ (CONNECTOR) をはんだで接続すれば完成です。

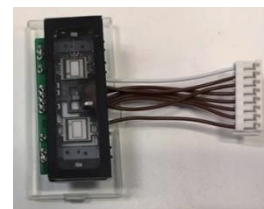


振動対策ケースの組み立て方

1~5. Nutube 変換基板の組み立て方と同じです。

6. HOLDER 下部に変換基板を貼り付けます。

貼り付ける前に必ず Nutube の位置が中央になるよう確認してください。
注意！ Nutube および基板が振動ケースに接触しないようにしてください。



7. HOLDER 上部をかぶせます。



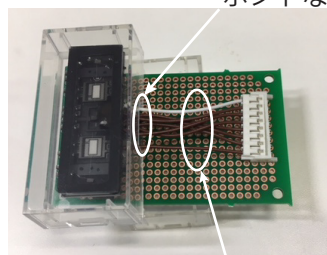
8. HOLDER 下部に CUSHION3 を貼り付けます。



9. 完成したケースを取り付けたい基板に貼り付け、コネクタを接続すれば完成です。

(ケースの開口部をボンドなどでふさぎ、ハーネスをテープなどで固定する事で、より振動の影響を受けにくくすることができます。)

ボンドなどで穴をふさぐ



テープ等で固定する

振動対策ケースの効果 *外部衝撃によるNutubeの出力レベルを測定。

| | 外部衝撃音(※1) | 基板打撃(※2) |
|----------|-----------|----------|
| 対策なし(※3) | +30dB | +42dB |
| 対策ケースあり | +14dB | +3dB |

※1…Nutubeのそばでアクリルケースを金属棒で叩いたときのレベル。

*この時アクリルケースと金属棒がNutube及び周辺の部品に触れないこと。

※2…基板から約10cm上から金属棒を落とす。

※3…振動対策ケースを使用せず、Nutubeを基板に接触させて固定した状態。

Nutube ソケットの使い方

Nutube 専用の抜き差しできる 2mm ピッチのソケットです。

Nutube を基板に直接はんだ付けしたくない場合になどに使用します。

変換基板にも取り付け可能です。ただし振動対策ケースと Nutube ソケットを同時に使用する事はできません。

